



掲 示 板

専門音訳「音声デージー編集」講習会を開講

毎日新聞大阪社会事業団と当館の共催で、専門音訳講習会「音声デージー編集コース」を開講します。今日、録音図書の製作にはデージー編集の技術が欠かせません。これから始める方、まだ自信の持てない方は、ぜひご受講ください。

日時 2024年2月1日、8日、15日(木)、全3回、各日10時～15時

内容 デージー編集の基礎知識、編集技術(実習)、編集校正技術

定員 10人 受講料 1,200円

申込 当館HP(<https://www.lighthouse.or.jp/iccb/>)で要項をご確認の上、1月13日(土)必着でお申し込み下さい。

お問合せ 当館録音製作係(06-6441-1017)

情報ソクソク発信中！当館のSNS

当館では「X(旧ツイッター)」や「インスタグラム」で、ボランティアや支援者、利用者に向けて様々な情報を発信しています。当初はサービス部の情報が中心でしたが、この10月から製作部を含めた全係が持ち回りで投稿を担当。完成した点字・録音図書、電子書籍、シネマ・デージーの紹介

や、講習会・勉強会といったボランティア活動の情報なども随時発信されるようになりました。

当館のXやインスタグラムの記事をスマホやパソコンでご覧いただくには、専用アプリで「@iccb2020」と検索してください。



(左)完成したマルチメディアデージー図書の紹介
(右)点訳校正勉強会の様子(Xより引用)

年末年始の休館・休室について

12月14日(第2木曜)=エンジョイ！グッズサロンと図書貸出は書庫・在庫整理日で休室
12月26日(火)=サービス最終日
12月27日(水)=ボランティア活動最終日
(各係で異なりますので、ご確認ください。)
12月29日(金)～1月4日(木)=全館休館
1月6日(土)=サービス再開、製作部は休室

情報文化センターと共に歩んだ半生を振り返って 活動歴40年を超えるボランティアの方々のご紹介(5)

ボランティア活動歴40年を超えて、今も活躍しておられる方々にこれまでの歩みを振り返っていた
だくりレー企画の第5回。今回は、点字製作係の雀部喜久子さんと八木光子さんのご紹介です。

たくさんの本との出会いに感謝

雀部 喜久子(点訳ボランティア)

息子が浪人生、娘が高校1年になった時に、
阪急川西駅前からバスで30分ほどの山を開発
した住宅地に引っ越し、主人の通勤も朝は早く
帰りも遅くなりました。私の自由に使える時間
が多くなり、自分の為だけに使うのではなく何か
御用がと思っていました時、朝日文化センター
で点字の講座があるのを知り、半年間のつもり
が1年受講し、終了後、点字図書館で本作りを
するか地域で活動するかといわれ、盲人情報文
化センターでの本作りに加えていただきました。

点筆で1点1点、間違えないように打ちます。
が、マス空けを間違えると用紙がボツ。無駄を
出さないよう神経を使いつつ、少しずつ仕上げ
ていきました。点字タイプライターを貸してい
ただけることになりましたが、台数が少なかっ
たため、自分で買い、随分早く仕上げられるよ
うになりました(タイプライターは今も本箱の隅
に置いてあります)。

今までに出会った本の中で印象に残っている
のは「呉・三国志 長江燃ゆ」(全10巻)や「愛犬の

ための食
べもの栄
養事典」
(味付けす
れば人間
も美味し
く頂けそ
うな献立
がたくさん
掲載され
ており、
打ちなが



ら楽しみました)など。初めから終わりまで全
然内容がわからないままだったプライベート依
頼の本は、分厚いので他の方と半分ずつ点訳し
ましたが、「急いでください」と言われたため、
読みの分からないところは石橋教会の牧師先生
に伺いながら仕上げました。その他、自分では
手に取ることは無いだろうと思う本にたくさん
出会うことができ、幸いな時間を頂いて感謝で
す。できるなら、もう少し続けさせていただ
きたいと願っております。

多くの皆さんに支えられて感謝

八木 光子(点訳ボランティア)

次男が3歳になり育児にも少し慣れてきた時、
勤めに出るのは無理だが何かしたいと思ってい
た時に日本ライトハウスの点訳者養成講座を見
つけて申し込みました。通信教育で講師は本田
作江先生。課題は終えたのですが、また事情が
あって10年のブランク。もう1度受講をと盲
人情報文化センターを訪ねると、「テストして
みよう」と言われてそのままメンバーに。

点字板、タイプライターからパソコン点訳に
変わり、PCの知識は全くなかったのに、「点字
が出来れば大丈夫」と職員やすおの森泰雄さんに勧めら
れて始めたのが、IBMのBEという点訳ソフト

でした。
誤字も簡
単に訂正
可能にな
り感激し
ました。

ペア校
正では、
漢字を正
しく読ま
なければ



ならないことを痛感。宗教関係の本の校正を担
当した際、「神道しんとう」という語が頻出したのですが、
「シンドー」と点訳されていたので、濁点1字の

為にすべて訂正することになり、パソコン点訳ではなくタイプ点訳だったので1冊全部をやり直し。「大変だけれどお願いね」と言ったこと、今も思い出します。思い込みの怖さを知り、以後、それまで以上に辞書と仲良くなりました。

一時体調を崩してから「2校正」を受け持っています。数年前から夫の介護もあって計画通りに進まず、ご迷惑をおかけして申し訳なく思っていますが、点字に向かっていると介護のストレスもいつの間にか忘れてしまっています。

森泰雄さん、水谷昌史^{まさふみ}さん、小原二三夫^{おぼらふみお}さん、奥野真里さん、そしてすべての職員の皆さんにお世話になりつつも、これからも介護と両立できれば良いなと思っています。

【館より】本田作江さんは当館のボランティアとして長年点訳指導を担当された方。雀部さんが参加された朝日文化センターの講座も指導されました。また、森泰雄さんと水谷昌史さんは当館点字製作係の点字指導と触読校正の2本柱でしたが、森さんは30年勤められた後、2005年に61歳でご逝去。水谷さんは当館から東京の点字雑誌の編集者に転職して、活躍されましたが、現在は全視情協のボランティアとして当館に通い、『点字毎日』復刻版の校正に打ち込んでおられます。小原さんは点字出版所勤務の後、お二人の後を継いで点字指導と校正に当たりましたが、2020年の退職後は“触”の達人として彫刻三昧の日々を送っておられます。

視覚障害リハビリテーションセンターの全面改修工事に着工 「リフレッシュ募金」にご協力ください

視覚に障害のある方々の豊かな日常・社会生活や就労を支援している鶴見区の「日本ライトハウス視覚障害リハビリテーションセンター」では、11月から東西館のリフレッシュ(全面改修)工事に着工しました。

同センターの東西館は1992年に竣工。鉄筋コンクリート一部5階建て、延床面積約3191平方mで、多数の居室、教室、会議室、食堂、体操場、職員室等があります。障害者支援施設「日本ライトハウスきらきら」と障害福祉サービス事業所「日本ライトハウスわくわく」、職業訓練部などが事業を行っており、入所・通所を合わせて、毎日100人近い視覚障害等の方々が利用されています。(東西館の向かい側には南館があり、居宅支援センター「てくてく」と「鶴見区障がい者基幹相談支援センター」などが事業を行っています。)

東西館は竣工以来31年が経過し、設備機器と建物の劣化が激しく、毎年多額の修繕費がかかるようになっていきます。また近年、利用者の高齢化や障害の重度化、重複化が進んでいますが、浴室やトイレなどがバリアフリー仕様でなく、利用者に変なご不便をおかけしています。そこで、利用者の方々が安心して、生き生きとした生活を送ることができるよう、老朽化し



改修前のリハビリテーションセンター東西館

た施設・設備を全面改修することにしました。主な改修工事としては、①居室の個室化とトイレ・浴室のバリアフリー化、②エレベータの更新、③冷暖房と厨房設備の更新、④消火設備・スプリンクラーの更新、⑤外壁・屋上防水工事など。完成は2024年3月末を目指しています。

この改修工事の総工費は4億7千万円余りの予定です。厚生労働省と大阪市から2億1千万円余の補助金を頂けることになりましたが、残りは自主財源で賄わなければなりません。そのため目下、リフレッシュ募金を行っています。本誌に趣意書を同封しますので、ご協力いただければまことに幸いです。

銀幕の視覚障害者（４）～「暗くなるまで待つて」

録音製作係 宇田佑香

古今東西、視覚障害者が登場する映画は数多あります。そんな中から、映画好きが高じて当館の音声解説担当になった宇田職員が観て、心に残った作品を不定期連載でご紹介します。

「暗くなるまで待つて」＝テレンス・ヤング監督、1967年、アメリカ映画、108分

交通事故で視力を失った女性・スージーの夫は、気づかぬうちにヒロインが隠された人形を自宅に持って帰ってしまい、やがて人形を探す詐欺師たちが自宅に忍び込んでくる。スージーの目が見えないことに気づいた詐欺師たちは、芝居を打ってスージーを騙し、人形の在り処を突き止めようとする――。

この映画が製作された1960年代後半は、それまで確立されてきた映画文法を覆し、社会批判的なメッセージを含ませた「アメリカン・ニューシネマ」なるムーブメントが起こり始めていた時代。ですが、本作は、かの有名なヒッチコック作品に引けを取らない古典的サスペンス映画。主演はオードリー・ヘプバーンともあって、ご覧になったことがある方も多いと思います。

見どころは、やはりクライマックス、スージーと詐欺師のバトルでしょう。ナイフを持った詐欺師によって部屋に閉じ込められ、絶体絶命のスージー。目が見えない彼女はどのようにして戦ったのか…。答えは「部屋中の灯りを消した」です。

全盲の視覚障害者にとっては、部屋の灯りがついていようがまいが、何ら支障はないのですが、一方で、晴眼者が視覚に頼れない“暗闇”下におかれると、戦闘能力が著しく落ちてしまいます。“暗闇”を味方につけるというスージーの戦法には「なるほど！その手があったか」と意表を突かれました。

闇の中に差す「マッチの火」や「冷蔵庫内のライト」の使われ方も秀逸です。手に汗を握りながらの鑑賞後、「よくできたストーリーだな…」としみじみ思いました。

この「感謝報告」欄は、当センターの事業にご協力いただいた方々のお名前と内容を感謝を込めてご紹介するものです。本号では2023年10月分を掲載いたします。大勢の皆様のお名前と幅広い活動内容を限られた誌面に収めるため、見にくい編集や掲載順の一部変更、敬称の省略等をどうかお許しください。

♣ 点字製作 ♣

10月分完成点字図書

14タイトル41冊(書名、編著者、冊数、点訳者、校正者)

生きもの毛事典(保谷彰彦) 2冊
点:南 佳奈
校:G校正 河村牧子
一気読み世界史(出口治明) 5冊
点:大安徹雄 本条祐子
校:G校正 平野 健
大相撲語辞典(福家聡子) 4冊
点:稲田弘江 増田芳子
前田裕子
校:G校正 平野 健

「夫の財布」はいますぐ妻が握りなさい!(荻原博子) 2冊
点:市川道子
校:島谷久美子 篠原苑子
高校用 トレーニングノートβ
英文法(高校教育研究会編 他) 4冊
点・校:グループONE
これはちやうか(加納愛子) 2冊
点:船井由紀子
校:澤田祐子 宗像真李子
時間錬金術(宮崎伸治) 3冊
点:永吉ひとみ
校:野上満智子 橋詰玲子
少年犯罪(鮎川潤) 4冊
点:松井育子
校:G校正 平野 健

少しでもお金で得するのはどっち? 2冊
点:雪岡加奈子
校:G校正 河村牧子
成年後見制度の落とし穴(宮内康二) 3冊
点:西山和子
校:G校正 篠原苑子
西山太吉最後の告白(西山太吉 他) 3冊
点:藤井恵美子
校:G校正 宗像真李子
呪われ少将の交遊録(相田美紅) 4冊
点:高木智佳子
校:G校正 橋詰玲子

ぼくたちが知っておきたい
生理のこと(博多大吉 他) 2冊
点:永吉ひとみ
校:G校正 木村寿子
野球短歌(池松舞) 1冊
点:坂和員子
校:G校正 清水浩子

♠ 録音製作 ♠

10月分完成録音図書

15タイトル(書名、著者、録音
時間、音訳者、校正者、編集者)

「異論の共存」戦略(松竹伸幸) 8:29
音:廣野美代子
校:佐古智子 米谷治子
松井喜美代
編:石井ふみ代

過剰可視化社会(與那覇潤) 6:35
音:川辺洋子
校:有末 道 西田芳美
編:吉川順子

言葉のビミョーなちがいクイズ
3:24
音:植田美穂子
校:地上博子 本村英子
編:下山とよみ

自分でできる!熟睡脳のコツ
(酒谷薫) 4:32
音:岩崎千佐子
校:渡辺一枝 荒木良子
前田元子
編:岡村佳子

神木探偵(本田不二雄) 7:57
音:辻野玲子
校:下山とよみ 松井喜美代
編:山崎千代子

大安心(尾関宗園) 7:30
音:山中真理子
校:外園朝代

大絶滅は、また起きるのか?
(高橋瑞樹) 6:54
音:小林万智子
校:中澤康子 松井喜美代
編:辻野玲子

台湾に水の奇跡を呼んだ男
鳥居信平(平野久美子) 8:05
音:栗本慶子
校:桃井輝子 大桑久美子
松井喜美代
編:山崎千代子

「日韓」のモヤモヤと大学生の
わたし(加藤圭木監修) 7:50
音:神野千晴
校:藤森容子 平田恵美子
松井喜美代
編:山崎千代子

二度づけはあきまへん
(上山勝也 他) 7:37
音:山口和葉
校:久保洋子 高岡博子
伊東晴子
編:小林万智子

パッチ・アダムスと夢の病院
(P・アダムス 他) 10:48
音:岩井悦子
校:大坂陽子 大里いずみ
松井喜美代
編:辻野玲子

ぶらり大阪味な店めぐり
(井上理津子) 5:34
音:谷口伊都子
校:澤田由紀 和田ゆう子
松井喜美代
編:前田元子

ペアレントクラシー
(志水宏吉) 7:08
音:谷澤耀子
校:岡 香代子 栗本慶子
橋村恵子
編:吉川順子

万引きGメンの憂鬱
(日南休実) 5:24
音:大久保美弥
校:木村純子 下山とよみ
編:吉田典子

論考日本中世史(細川重男) 8:24
音:吉田典子
校:田宮恭子 佐藤保子
編:濱 欣子

♥ プライベート製作 ♥

点字図書

「金平糖」第175回 短歌サロン 1冊
点:待田敏彦
校:若林安也子
小倉藩の逆襲(小野剛史) 3冊
点:絹川和子
校:G校正
ニュー・エンジョイワーク
ぶちBOOK W 3冊
点・校:グループONE

録音図書

金田一少年の推理ミス復讐編
(世田谷トリック研究会) 5:09
音・編:辻野玲子

ミュージカル「巡礼の年～リフト・
フェレンツ、魂の彷徨」ショー
グループ「Fashionable Empire」
2022 6.4-7.11
3:21
音・編:浜本裕子

◆ 定期刊行物 ◆

『ONE BOOK ONE LIFE』2023年11月号
発送:木下正義 中島小夜子
中島千恵 西垣泰子 山田一弘

『読書』2023年11月号
デイジー版 1:14
音:寺下千秋 校:下山とよみ
発送:井川倭文子 板波キミ
並木昌子 宮崎ナオヨ 宮野興子

『JRニュース』2023年11月号
点字版 3冊
点・校:金曜日グループ

『お役立ち目録～誰かに読まれ
たい時代小説』2023年11月号
デイジー版 0:12
音:寺下千秋 校:下山とよみ

『子供の科学』2023年9月号
デジ版 3:30
音・校・編:グループ汐(ゆうしお)
井駒多津子 岸田素子 澤田美那子
埴田禮子 田中英子 土井明美
宮 清子 吉田 薫

『サイエンスかわら版』2023年9月号
デジ版 3:57
音・校・編:情報文化センター
「理数チーム」
大屋敦子 寺田美枝子 畑 豊弥
濱 欣子 松本紀代 溝渕久美子
目連雅子 本村英子

『Tehamo(てはも)』Vol.3 No.2
(通巻7号)
デジ版 13:16
音・校・編:情報文化センター
「東洋医学チーム」
荒木良子 岩崎千佐子 植田美穂子
大坂陽子 岡村佳子 片岡珠子
金井典子 川端砂代子 久保洋子
小林万智子 坂本雪枝 佐古智子
佐山敦子 関岡直江 羽淵雅子
濱名あきよ 前川祐子 前田元子
山本雅子 渡辺一枝

『日経パソコン』
2023年10月号 デジ版 3:52
音・校・編:情報文化センター
石井那智子 岡村佳子 桂 公子
金井典子 北川温子 木村純子
上月直子 小林幸子 小森佳津子
佐藤圭子 佐山敦子 嶋川真理子
下山とよみ 寺下千秋 寺田美枝子
西村郁子 二宮真理 橋本万里
平田恵美子 福島博子 前田元子
水谷和子 溝渕久美子 目連雅子

『英語よもやま通信』2023年11月号
デジ版 2:25
音・校・編:情報文化センター
「英語チーム」
伊東晴子 川辺洋子 中島美穂
中島 睦 西田芳美 西和田恵子
弘津千加子 眞津野秀子 山崎千代子
脇本登志子

『鍼灸柔整新聞』デジ版
2023年9月25日号 1:33
2023年10月10日号 1:34
音・校・編:情報文化センター
「東洋医学チーム」
岩崎千佐子 植田美穂子 大坂陽子
片岡珠子 金井典子 川端砂代子
佐山敦子 関岡直江 濱名あきよ
前川祐子 前田元子 渡辺一枝

『週刊新潮』デジ版
◆2023年10月5日号 9:17
今岡松代 榎原真理 岡村勝彦
奥田和美 音無幸子 上田啓子
河原真知子 衣田智恵美 木村加代
黒河典子 後藤泰子 正田潤子
中村千賀子 中村直美 中本和代
西田文子 野村美穂子 兵頭つね子
深津綾子 福田佳代 藤原雅子
森島美穂
編:中本和代

◆2023年10月12日号 10:05
畔田文恵 石原晶子 稲田至功子
大橋恵子 岡崎節子 加藤和夫
上村裕子 阪本由美子 佐古智子
佐藤公平 澤井 稔 鈴木恵子
高橋孝子 武市敦子 地上博子
寺下千秋 西岡千代子 濱 洋一
林 由子 福井栄子 松浦洋子
光成明子 向高寿子 山本スズ子
山本晴代 湯浅里美 和田ゆう子
和布浦眞里子
編:大島幸枝

◆2023年10月19日号 10:02
荒木節子 岩谷友子 越智真弓子
帰村千恵 阪本美代子 澤田和代
清水百世 新熊美衛子 高久俊子
田淵浩子 寺西竹子 中岡競子
成田次雄 成田由起 西村道子
西本美加子 西山トシ子 直場徳宥
橋本明子 服部秀美 星子鐵郎
前田元子 松原和子 山下 豊
山田栄利子
編:デジ版大阪

◆2023年10月26日号 9:43
有川美津子 石原晶子 井上真子
大久保美弥 大島幸枝 大塚しづ子
岡崎節子 上村裕子 神谷勉子
川添美智子 川端砂代子 川本くるみ
北元直子 久下悦子 久保諄洗
國分清子 阪本美紀 佐藤公平
澤井 稔 地福延代 嶋津美香
鈴木栄二 高橋孝子 武市敦子
竹内清子 立川有紀子 玉置明美
田宮加代 坪田捷子 富田久美子
中道由美子 西田千波 橋村恵子
濱 欣子 兵頭賢一 平田恵美子
廣田あけみ 松浦洋子 八十嶋敦子
和布浦眞里子
編:佐古智子

◆新潮音訳協力グループ
八幡市民図書館朗読ボランティア
サークルよむよむ
奈良県視覚障害者福祉センター
「草笛会」
グループN-BUN
デジ版大阪

★ 電子書籍 ★

◆プライベート製作
運行管理者基礎講習用テキスト
法令集 旅客編 2023年度版
平林隆雄

◆テキストデータ
ONE BOOK ONE LIFE
1983年6月号
山本町子
ONE BOOK ONE LIFE
1984年1月号
池尻三千子 西村佐世子



◆テキストDAISY図書

患者満足度

DAISY校正:加藤珠子

言いにくいことが言えるように

なる伝え方

テキスト化:北川かほる

森 美恵子

DAISY編集:北川かほる

DAISY校正:加藤珠子

MONTHLY “日本一”明るい

経済新聞10月号

テキスト化・DAISY編集:

越智真弓子

産経新聞 産経抄

2023年10月1日～10月15日

テキスト化:池尻三千子

千徳節子 西村佐世子

新田 優

2023年10月16日～10月31日

テキスト化:池尻三千子

木原富子 西村佐世子

新田 優

◆マルチメディアDAISY図書

アルマの名前がながいわけ

テキスト化:森田敏子 浦浜容子

DAISY校正:足立佐紀子

音:前田綾子 吉田典子

平家物語 わたしの古典

テキスト化:森田敏子 吉田典子

DAISY編集:加藤珠子

DAISY校正:山田理子

音:北川温子 吉田典子

🍷 館内お手伝い 🍷

図書・情報サービス

板波キミ 上田敬子 片岡忠克

木村謹治 婦村千恵 小寺高子

田間泰子 塚本紀子 逸見恵子

待田敏彦 宮嶋昌代 森本益子

京村禎子 渡邊洋子

[茨木市バラの会]

堂 晴美 片倉康子

吉田 充 宮 諭日

整理・情報サービス

板波キミ 鱗星千恵子

逸見恵子

電子書籍

池尻三千子 西村佐世子

千徳節子 新田 優

入力作業

江島理枝

館内作業

井上恵子

◆10月の貸出実績

点字 154tl DAISY 2621tl

テープ 3tl

★10月の人気貸出図書★

(当館製作図書。順不同。)

【点字図書】

乗り鉄エキスパート

(鈴木省吾 他)

日本に住んでる世界のひと

(金井真紀)

はぐれイワシの打ち明け話

(B・フランソワ)

心をととのえるスヌーピー

(C・M・シュルツ)

【録音図書】

怪盗探偵山猫 5(神永学)

猟犬検事墮落(南英男)

ルームメイトと謎解きを

(楠谷佑)

馬上の星 小説・馬援伝

(宮城谷昌光)

『対面リーディング通信』編集

伊東晴子 木村謹治 澤井 稔

細井昌子

🎧 音声解説 🎧

(ボイスがらす)

◆シネマ・デージー

「傷だらけの天使 Vol.1」

ナレーション・台本制作・編集:

田中千壽子 西川真知子

台本校正:藤井倫子

☒ パソコンサポート ☒

(ボイスネット)

【10月実績】

来館:斧田綱子 木村朱美

石川昌宏

週報:阿佐和幸

HP更新:中条正信

《一ツ橋総合財団助成事業》

アクセシブルな電子書籍、シネマ・デージー等、当館の先端的なメディアは公益財団法人一ツ橋総合財団のご助成により製作されています。

* ご 寄 附 *

池田万佐美 上村真寿美 大滝 泉

佐藤清志 高橋恵美子 田中義人

中村華代 西野隆士 湯川欣晃

若松ひろみ 匿名1件

(敬称略をご容赦下さい)



🍷 対面リーディング 🍷

上ノ山禎子 大西裕恵 桂 公子

鎌田 潤 澤井 稔 鳥 美緒

神保克子 竹内清子 田那辺優子

辻村 稔 畑 豊弥 藤本郁子

麓 孜子 山田栄利子 脇野由起子

10月 利用者6人・21件

専門音訳講習会が大盛況

毎日新聞大阪社会事業団と当館が主催している専門点訳・音訳講習会は37年(36回)目を迎え、受講者は2,500名を越えました。今年度も多様なテーマで開講していますが、11月に終了した専門音訳講習会2コースはいずれも大盛況。「小説の読み方コース」は、42団体から113人もの応募があったため、34団体34人(1回目16人、2回目18人)に絞らせていただき、前田綾子さんの指導で8月29日と11月7日の2回各4時間行いました。また、「雑誌の製作コース」にも19団体から25名の応募があり、9月14日から11月9日まで6回開講。当館の木田陽子主任の他、録音雑誌製作に造詣の深い視覚障害者総合支援センターちばの石渡きよみ氏、グループN-BUN、早川福祉会館点字図書室、奈良県の草笛会にも講師をお願いしました。今後も関心・必要のあるテーマがありましたら、ぜひご受講ください。

識字に関する国際会議に奥野主任が出張

11月29日から12月3日、米フロリダ州で開かれる「Getting In Touch With Literacy 2023」に点字製作係の奥野真里主任が出張しました。この会議は点字、触図など視覚障害者の「識字」に関する取り組みや研究を発表する国際会議。1993年から米国各地で隔年開催され、今回は最終15回目で、4日間に亘り、約60題の発表が行われます。奥野は、日本の「教科書点訳連絡会」事務局長として発表者に選ばれたもので、「The Current Status and Issues of Braille Acquisition by School-Aged Children and Students in Japan」と題して発表します。会議の内容は後日、本誌で紹介する予定です。

ボランティア友の会世話人会報告

11月9日(木)10:00~11:30

出席者:池本、大安、奥、尾崎、梶原、小寺、
阪本、嶋林、向井、山田
(館から竹下、谷口、徳嶋)

<館からの報告>

- ・日本ライトハウス展2023 盛会に終了
- ・全視情協全国大会について

<協議事項>

- ・施設見学会の詳細
- ・ボランティア友の会総会・交流会について

<次回>2024年1月11日(木)10:00~

あゆみ

【11月】

- 9日 ボランティア世話人会
- 11日 オープンデー(館内見学日・4人)
- 15・16日 日本ライトハウス理事・評議員会(当館)
- 29日 V友の会施設見学会(盲導犬訓練所)

予定

【12月】

- 8日 点訳ボランティア養成講習会修了式
- 9日 オープンデー(館内見学日、要予約)
- 14日 サービス部休室(書庫・在庫整理日)
- 26日 サービス年内最終日
- 27日 ボランティア活動年内最終日
- 28日 仕事納め

【1月】

- 5日 仕事始め
法人新年互礼会
- 6日 製作部休室(8日月曜指定祝日振替)
サービス再開

編集 各地でクリスマスのイルミネーション
後記 やツリーの点灯が始まる季節となり、日に日に寒さが増しています。私も早速ですが、家でクリスマスのもを出してきて飾りました。パッチワークのタペストリー、松ぼっくりのリース、小さなツリー、ジングルベルのオーナメントや赤い靴下の置物、サンタとトナカイとツリーの色紙や雪の結晶の切り紙など。子どもの頃のクリスマスには、サンタクロースが来てくれる夢をみたものですが、昨夜は懐かしい人の夢をみて、目が覚めました。友人とお店に入ったところ、焼魚定食を食べようとしている亡き父に偶然出会ったというものでした。私はあまり夢をみないのですが、久しぶりの父に逢えて今日は一日その余韻に浸っています。(一)

ワンブックワンライフ
ONE BOOK ONE LIFE 2023年12月号

発行 社会福祉法人日本ライトハウス
情報文化センター(館長 竹下 亘)
住所 大阪市西区江戸堀1-13-2(〒550-0002)
TEL 06-6441-0015 FAX 06-6441-0095
E-mail info@iccb.jp

表紙絵 かたおか朋子
発行日 2023年12月1日
定価 1部100円 年間購読料1,000円

公式SNS
はじめました

